

第 3 学 年 体 育 科 学 習 指 導 案

日 時 平成 27 年〇〇月〇〇日 (〇) 第〇校時
 対 象 第 3 学年〇組 〇〇名
 学校名 〇〇立〇〇小学校
 場 所 体育館

1 単元名 ゲーム ゴール型ゲーム 「サークルシュート」

2 単元の目標

技能	基本的なボール操作やボールを持たないときの動きによって、易しいゲームをすることができるようにする。
態度	運動にすすんで取り組み、規則を守り仲よく運動したり、勝敗を受け入れたり、場や用具の安全に気を付けたりすることができるようにする。
思考・判断	規則を工夫したり、ゲームの型に応じた簡単な作戦を立てたりすることができるようにする。

3 単元の評価規準

	ア 運動への関心・意欲・態度	イ 運動についての思考・判断	ウ 運動の技能
単元の評価規準	ゲームにすすんで取り組むとともに、規則を守り勝敗を受け入れて仲よく運動しようとしたり、運動する場や用具の安全を確かめようとしたりしている。	規則を工夫したり、ゲームの型に応じた簡単な作戦を立てたりしている。	易しいゲームを楽しく行うための基本的なボール操作や簡単な動きを身に付けている。
学習活動に即した評価規準	①ゲームにすすんで取り組もうとしている。 ②規則を守り、友達と励まし合って練習やゲームをしようとしたり、勝敗の結果を受け入れようとしたりしている。 ③友達と協力して、用具の準備や片付けをしようとしている。 ④ゲームを行う場や用具の使い方などの安全を確かめようとしている。	①サークルシュートゲームの行い方を知るとともに、易しいゲームを行うための規則を工夫している。 ②ボールをゴールまで運ぶための、簡単な作戦を立てている。	①ボールを持ったときに、ゴールに体を向けることができる。 ②空いている味方にパスを出すことができる。 ③ボール保持者と自分の間に守備者がいないように移動することができる。

4 指導観

小学校学習指導要領解説体育編第3章第2節Eゲーム(1)によると、「ア ゴール型ゲームでは、基本的なボール操作やボールをもたないときの動きによって、易しいゲームをすること」とあり、「易しいゲームとは、簡単なボール操作で行える、比較的少人数で行える、身体接触を避けるなど、児童が取り組みやすいように工夫したゲーム」と、記されている。本単元においては、児童が、仲間と協力してゲームを楽しむことの工夫や楽しいゲームを作り上げることを課題とし、規則を工夫したり作戦を立てたりすることを重視しながら、簡単な動きを身に付けて、ゲームを楽しくしていくことが大切であると考えます。

(1) 単元観

ア 一般的特性

- ・集団対集団で競い合い、友達とともに協力し合って勝敗を競うことに楽しさや喜びを味わうことができる運動である。
- ・はじめの規則が簡単のため、児童が規則を工夫しやすい運動である。

イ 児童から見た特性

- ・友達と協力してパスをつないでシュートすることが楽しい運動である。
- ・誰がゴールに入ってシュートを受けてもよいので、運動が苦手な児童も得点の場面に関われる機会が増え、それぞれの技能に応じた動きをすることが可能な運動である。
- ・ゴールが円形でどこからでもシュートが打てることによりいろいろな攻撃のパターンや作戦を考えやすい運動である。
- ・攻守入り交じり型なので、自分の思い通りの場所にパスしたり、ボールをキャッチしたりすることが難しい運動である。
- ・攻守入り交じり型なので、自分たちの立てた作戦を実行するのが難しい運動である。
- ・ボールを持たないときに、どこに動いたらよいのかを瞬時に判断するのが難しい運動である。

(2) 教材観

本単元では、できるだけ多くの児童が得点場面に関わり、仲間と楽しく高め合いながら学習することができるように、ゴールをサークル型(円型)にした。サークル型のゴールは、360度どこからでもシュートができるため、攻撃に広がりが出て、いろいろな作戦が考えられる。

特に、ゴール近くの場面では、周りの状況を見てタイミングよくサークル内に入り、味方からのシュートをキャッチすることが必要となるため、ボールを持たないときの動きを身に付けていくことが重要となる。学習においては、そのような局面を意図的に作り出し、その動きが直接得点につながるようにしていきたい。

また、ボール操作を苦手とする児童も、パスのみでボールをつなぎシュートまでもっていくため、自然とチームの中で関わり合う機会が増えるようになる。楽しくゲームに参加し、自分の役割を見つけて動くことができるように「仲間と高め合う」学習となるようにしたい。

5 年間指導計画における位置付け

(第3学年)

4月	5月	6月	7月	9月
かけっこ・リレー⑦ 体ほぐしの運動②	リズムダンス⑤ 多様な動きをつくる運動③	浮く運動・泳ぐ運動④ 鉄棒運動⑥	ネット型ゲーム⑦ 「フロアボール」 浮く運動・泳ぐ運動④	浮く運動・泳ぐ運動② 幅跳び⑥
10月	11月	12月	1月	2月・3月
多様な動きをつくる運動⑤ 小型ハードル走⑦	マット運動⑦ 高跳び⑥	ゴール型ゲーム⑥ 「サークルシュート」 多様な動きをつくる運動④	跳び箱運動⑦ 表現⑥	保健④ 「毎日の生活と健康」 ゴール型ゲーム⑦ 「ラインサッカー」

(第4学年)

4月	5月	6月	7月	9月
かけっこ・リレー⑦ 体ほぐしの運動②	リズムダンス⑤ 多様な動きをつくる運動③	浮く運動・泳ぐ運動④ 鉄棒運動⑥	浮く運動・泳ぐ運動④ ベースボール型ゲーム⑦ 「ハンドベースボール」	浮く運動・泳ぐ運動② 幅跳び⑥
10月	11月	12月	1月	2月・3月
多様な動きをつくる運動④	マット運動⑦ 高跳び⑥	ゴール型ゲーム⑦ 「ハンドボール」	跳び箱運動⑦ 表現⑥	保健④ 「育ちゆく体と」

小型ハードル走⑦		多様な動きをつくる運動④		わたし」 ゴール型ゲーム⑦ 「ラインサッカー」
----------	--	--------------	--	-------------------------------

6 単元の指導計画と評価計画（6時間扱い）

時	学習内容・学習活動	評価規準（評価方法）			
		関心・意欲・態度	思考・判断	技能	
【知る】 1	<p>オリエンテーション</p> <p>1 単元のねらいや学習の進め方を知り、見通しをもつ。</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>(第1時)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サークルシュートゲームのやり方を知ろう。 </div> <p>2 決まりについて理解する。</p> <p>3 準備運動をする。</p> <p>4 場の準備をする。</p> <p>5 ボール慣れをする。</p> <p>6 はじめのゲームをする。</p> <p>7 用具の片付けをする。</p> <p>8 整理運動をする。</p> <p>9 振り返りをする。</p>	<p>アー①</p> <p>ゲームにすすんで取り組もうとしている。</p> <p>(観察)</p> <p>アー③</p> <p>友達と協力して、用具の準備や片付けをしようとしている。</p> <p>(観察)</p>	<p>イー①</p> <p>サークルシュートゲームの行い方を知ることができる。</p> <p>(発言・観察)</p>		
	2	<p>1 学習のねらいを確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>(第2時)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・規則を工夫しよう ・ボールを持ったら、ゴールに体を向けよう。 </div>	<p>アー④</p> <p>ゲームを行う場や用具の使い方などの安全を確かめようとしている。(観察)</p>	<p>イー①</p> <p>サークルシュートゲームを行うための規則を工夫している。</p> <p>(発言・観察)</p>	<p>ウー①</p> <p>ボールを持ったときに、ゴールに体を向けることができる。</p> <p>(観察)</p>
	3	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>(第3時)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・規則を工夫しよう ・空いている味方にパスを出そう。 </div> <p>2 準備運動をする。</p> <p>3 場の準備をする。</p> <p>4 ボール慣れをする。</p> <p>5 ゲームをする。</p> <p>6 用具の片付けをする。</p> <p>7 整理運動をする。</p> <p>8 振り返りをする。</p>		<p>イー①</p> <p>サークルシュートゲームを行うための規則を工夫している。</p> <p>(発言・観察)</p>	<p>ウー②</p> <p>空いている味方にパスを出すことができる。</p> <p>(観察)</p>

【高める】 4 5 (本時) 6	1 学習のねらいを確認する。 (第4時) ・規則を守ってゲームをしよう。	アー② 規則を守り、友達と励まし合って練習やゲームをしようとしたり、勝敗の結果を受け入れようとしていたりしている。 (観察)	ウー② 空いている味方にパスを出すことができる (観察)
	(第5時) ・ボールをゴールまで運ぶための作戦を考えよう。		イー② ボールをゴールまで運ぶための簡単な作戦を立てている。 (発言・学習カード)
	(第6時) ・ボールがもらえる場所に動いてボールをもらおう。		イー② ボールをゴールまで運ぶための簡単な作戦を立てている。 (発言・学習カード)
2 準備運動をする。 3 場の準備をする。 4 ボール慣れをする。 5 ゲームをする。 6 用具の片付けをする。 7 整理運動をする。 8 振り返りをする。		ウー③ ボール保持者と自分の間に守備者がいないように移動することができる。 (観察)	
			ウー③ ボール保持者と自分の間に守備者がいないように移動することができる。 (観察)

7 指導に当たって

(1) 単元計画の工夫

単元全体を知る段階と高める段階の大きく2つに分け、ねらいを明確にして取り組ませる。

単元前半は知る段階として、ゲームの行い方を知り規則を工夫する時間とする。はじめの規則でゲームを行い、自分たちがもっと楽しめるゲームになるように規則を工夫しながら取り組ませる。また、基本的なボール操作を身に付けられるように、ボール慣れの時間を設定し、数多く、ボールに触れさせるようにする。

単元後半は高める段階として、チームで作戦を考え、それを実行してみる時間とする。そのため単元の後半では、チームで練習に取り組む時間を設定し、作戦を確認したり練習したりできるようにする。

(2) ボール慣れの工夫

サークルシュートゲームに必要な技能を大きく次の3つと考えた。

①ねらった方向にボールを投げる。②ボールを落とさずに捕る。③相手のいないところへ動く。

チームの課題に合わせた練習内容を用意することで、ゲームにつながる基本的なボール操作を身に付けることができるようにした。

① ねらった方向にボールを投げる練習 <シュートゲーム>
台の上に置いた箱の中に、ボールを入れたら得点になる。時間内に何個ボールが入るかを数える。慣れてきたら、守備をつけて行うようにする。

② ボールを落とさずに捕る練習 <パスゲーム>
二人で向かい合いパスをし合う。時間内に、何回パスがつながったかを数える。

③ 相手のいないところへ動く練習 <おっかけパス>
パスをしたら、空いているサークルに動く。時間を決めて、何回パスできるかを数える。

(3) 規則の工夫

ボールを持たないときの動きを必要とする場面を意図的に作り出し、それが得点につながるように規則を工夫した。また、360度どこからでもシュートできることで、いろいろな作戦を考えられるようにした。

<はじめの規則>

- ・ 1チーム4～5人。試合は4人で行う。(そのうち1人は攻撃専門で、守備はできない)
- ・ 試合時間は6分。(前半・後半各3分)
- ・ ゲームの開始は真ん中の線から始める。
- ・ パスをつないでゴールする。
- ・ ゴールの数は1チーム1つ。
- ・ ゴールゾーンでキャッチしたら1点。
- ・ ゴールゾーンには誰が入ってもよい。
- ・ 得点が入ったら、センターラインのサイドから相手ボールで再開する。
- ・ ボールがコート外に出たら、出した反対のチームが出た場所から投げ入れて始める。

<予想される規則・場の工夫>

- ・ ゴールゾーンを増やす。
- ・ ゴールゾーンの場所を変える。
- ・ ボールを持ったら3歩まで動ける。
- ・ 両足がゴールゾーン内に入っている状態でキャッチしないと得点にならない。
- ・ バウンドしてキャッチしても得点になる。(バウンドしたら1点、直接キャッチは2点など)
- ・ ゴールゾーンの周りに守備が入れないゾーンをつくる。

8 本時（全6時間中の第5時間目）

（1）本時の目標

（技能）ボール保持者と自分の間に守備者がいないように移動することができるようにする。

（思考・判断）ボールをゴールまで運ぶための、簡単な作戦を立てることができるようにする。

（2）本時の展開

時間	学習内容・学習活動・めあて	指導上の留意点・配慮事項	評価規準 (評価方法)
導入 7分	1 今日の学習内容を確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> ボールをゴールまで運ぶための作戦を考えよう。 </div> 2 準備運動をする。 3 場の準備をする。	<ul style="list-style-type: none"> 前時までの流れを想起させ本時のめあての確認をする。 指先や腕、足首など使う部位を特に意識させて行うようにする。 安全に気を付けて用具を運ぶように言葉掛けをする。 	
展開 30分	4 ボール慣れをする。(5分) 5 ゲームをする。 ゲーム① (前半3分 - 後半3分) ↓ チームタイム (2分) ↓ ゲーム② (前半3分 - 後半3分) ↓ チームタイム (2分) ↓ ゲーム③ (前半3分 - 後半3分)	<ul style="list-style-type: none"> 自分たちが選んだり考えたりした作戦を確認してから、練習させる。 自分たちの作戦ができたかどうか、振り返らせる。 振り返りで確認した作戦をゲームで生かすように指導する。 ゲームの中で見られたよい動きや友達へのよい言葉掛けなどを称賛する。 	☆イー② ボールをゴールまで運ぶための、簡単な作戦を立てている。(話し合いの中での発言) ☆ウー③ ボール保持者と自分の間に守備者がいないように移動することができる。(ゲーム中の様子を観察)
まとめ 8分	6 用具の片付けをする。 7 整理運動をする。 8 振り返りをする。	<ul style="list-style-type: none"> 安全に気を付けて用具の片付けを行わせる。 使った部位を意識させ、落ち着いた雰囲気を取り組ませる。 本時のめあてについて振り返るように言葉掛けをし、数名に発表させる。 次時の学習について伝える。 	☆イー② ボールをゴールまで運ぶための、簡単な作戦を立てている。(学習カード)